

抗ヒスタミン薬フォーミュラリ

薬事委員会(2024年4月)承認

患者ニーズの把握

効果重視

効果・副作用(眠気)重視

副作用(眠気)重視

オロパタジン

小児	2歳以上
妊婦・授乳婦	データなし
高齢者	慎重投与
腎・肝機能障害	慎重投与
自動車運転	禁止

レボセチリジン

小児	6ヶ月以上
妊婦・授乳婦	可
高齢者	慎重投与
腎・肝機能障害	慎重投与
自動車運転	禁止

フェキソフェナジン

小児	6ヶ月以上
妊婦・授乳婦	可
高齢者	可
腎・肝機能障害	可
自動車運転	可

症状評価

改善なし

改善

より効果が期待できる薬剤
※図①参照

休薬トライアル

内服再開

再燃

症状なし

治療終了

図① 第2世代抗ヒスタミン薬のポジショニング

薬事委員会(2024年4月)承認

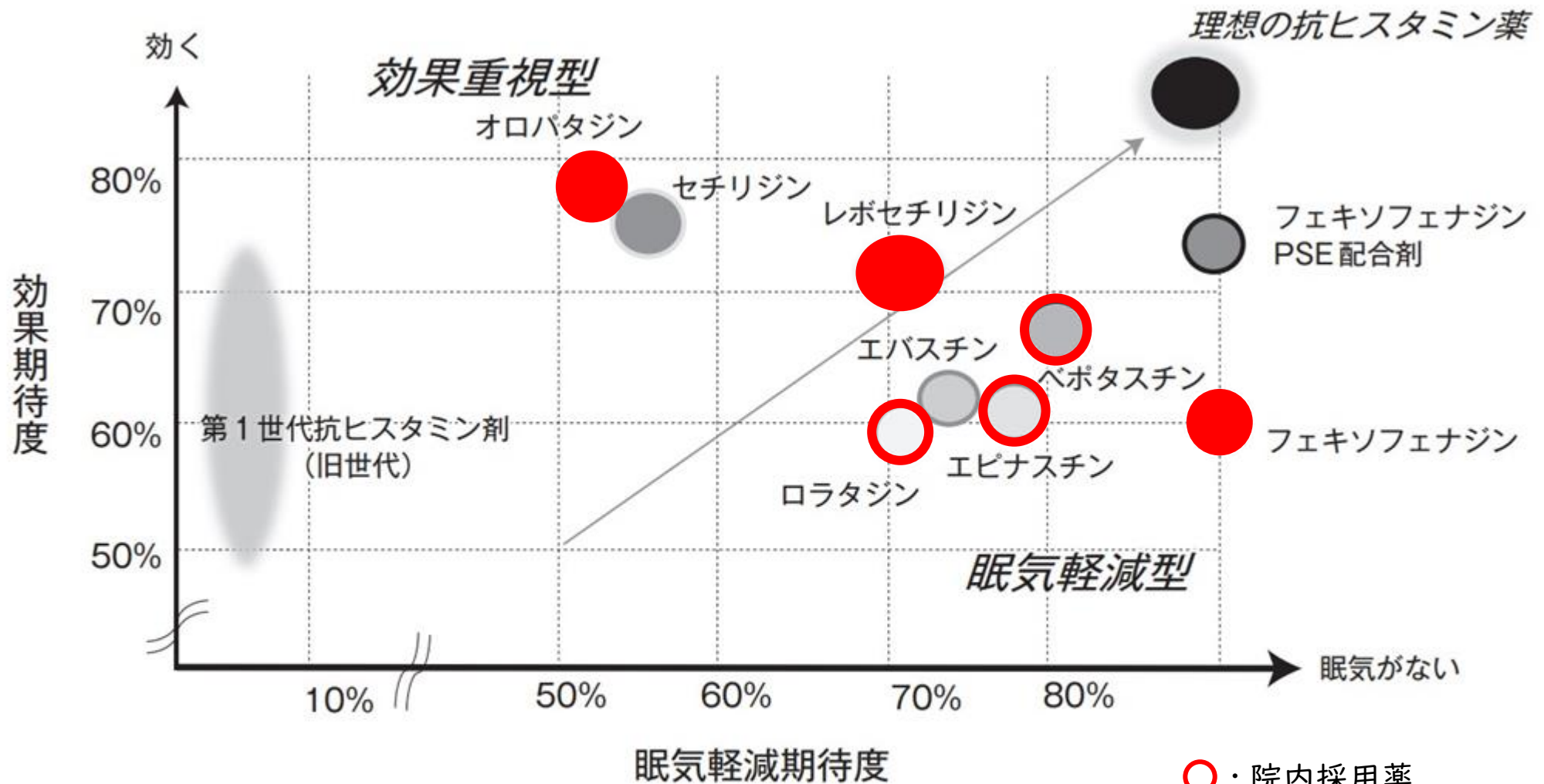


図1 第2世代抗ヒスタミン薬のポジショニング

横軸は、眠気軽減の期待値、縦軸は効果の高さの期待値を示している。理想の抗ヒスタミン薬は、効果も高く、眠気も無い薬剤である。

PSE： pseudoephedrine

- ：院内採用薬
- ：当院推奨薬

表① 経口抗ヒスタミン薬一覧 (院内採用)

薬事委員会(2024年4月)承認

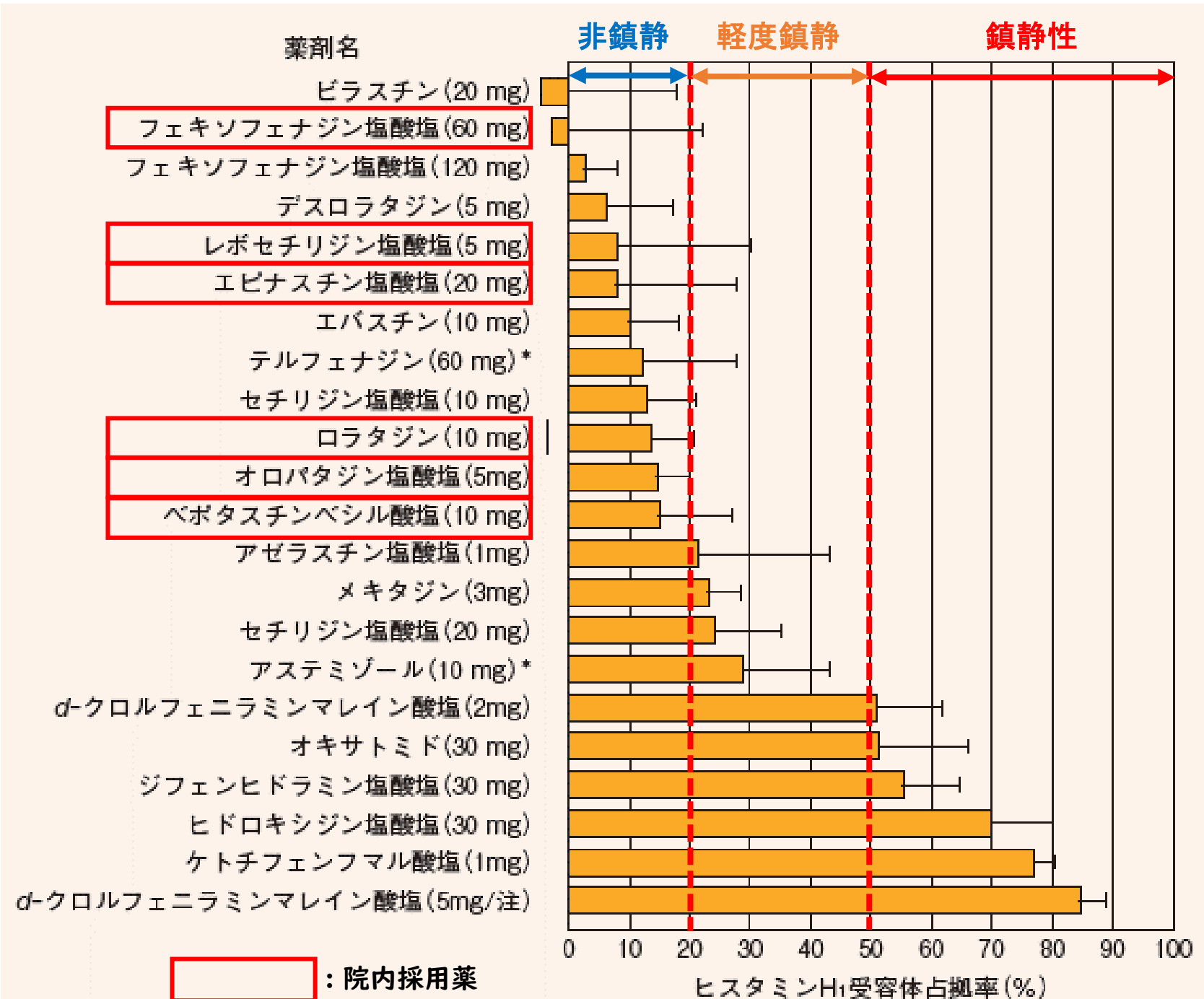
院内採用薬品	世代	鎮静	薬価 (錠/g/ml)	用法	Tmax	大人用量	小児用量	高齢者	腎機能 低下患者	肝機能 障害患者	運転	妊婦	授乳婦
ポララミン錠2mg	1	鎮静性	¥5.7	1~4回	/	2mg/回	/	/	/	/	×	/	/
アタラックス-Pカプセル25mg	1	鎮静性	¥5.9	2~3回	/	85~125mg/日	/	/	/	/	×	○	○
エピナスチン塩酸塩錠20mg「ケミファ」	2	非鎮静	¥21.3	1回	3.1hr	10~20mg/回	/	○	○	慎重投与	△	/	/
フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「NP」	2	非鎮静	¥23.5	2回	1.5~ 2.0hr	60mg/回	30mg/回(7歳以上12歳未満) 60mg/回(12歳以上)	○	○	○	○	疫学情報は ないが奇形情 報もなし	○
フェキソフェナジン塩酸塩DS5%「トーワ」			¥31.1			0.3g/回(6ヶ月以上2歳未満) 0.6g/回(2歳以上7歳未満) 0.6g/回(7歳以上12歳未満) 1.2g/回(12歳以上)							
ベポタスチンベシル酸塩錠10mg「タナベ」	2	非鎮静	¥12.5	2回	1.0~1.1hr	10mg/回(7歳以上)		注意	慎重投与	○	△	/	/
オロパタジン塩酸塩OD錠5mg「ケミファ」	2	非鎮静	¥10.1	2回 (朝、就寝前)	0.9~1.3hr	5mg/回(7歳以上) 2.5mg/回(2歳以上7歳未満)		慎重投与	慎重投与	慎重投与	×	/	/
クラリチンレディタブ錠10mg	2	非鎮静	¥44.6	1回	1.4~1.6hr	10mg/回(7歳以上)		慎重投与	慎重投与	慎重投与	○	○	○
レボセチリジン塩酸塩錠5mg「タカタ」	2	非鎮静	¥18.8	1回 (就寝前)	0.8~ 1.0hr	5mg/回※	2.5mg/回	慎重 投与	慎重 投与	慎重 投与	×	○	○
レボセチリジン塩酸塩DS0.5%「タカタ」			¥56.5			1g/回※ (MAX2g/回)	0.25g/回(6ヶ月以上1歳未満) 0.25g/回(1歳以上7歳未満) 0.5g/回(7歳以上15歳未満)						
レボセチリジン塩酸塩シロップ0.05%「サワイ」			¥6.7			10ml/回※ (MAX20ml/回)	2.5ml/回(6ヶ月以上1歳未満) 2.5ml/回(1歳以上7歳未満) 5ml/回(7歳以上15歳未満)						
ルパフィン錠10mg	2	/	¥50.6	1回	0.9~1.0hr	10mg/回(MAX20mg/回)(12歳以上)		慎重投与	慎重投与	慎重投与	×	/	/

○:自動車運転の制限なし
△:自動車運転の際には注意
×:自動車運転は禁止

※腎機能低下患者における レボセチリジン用量設定	クレアチニンクリアランス(mL/min)				
	≥80	50~79	30~49	10~29	<10
推奨用量	5mgを 1日に1回	2.5mgを 1日に1回	2.5mgを 2日に1回	2.5mgを 週に2回 (3~4日に1回)	禁忌

図② 脳内ヒスタミンH1受容体 占有率

薬事委員会(2024年4月)承認



高田製薬株式会社:ポララミン錠2mg, インタビューフォーム
ファイザー株式会社:アトラックス-P-カプセル25mg, インタビューフォーム
日本ケミファ株式会社:エピナスチン塩酸塩錠20mg「ケミファ」, インタビューフォーム
ニプロファーマ株式会社:フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「NP」, インタビューフォーム
東和製薬:フェキソフェナジン塩酸塩DS5%「トーワ」, インタビューフォーム
田辺三菱製薬株式会社:ベポタスチン塩酸塩錠10mg「タナベ」, インタビューフォーム
日本ケミファ株式会社:オロパタジン塩酸塩錠OD5mg「ケミファ」, インタビューフォーム
バイエル薬品株式会社:クラチインレディタブ錠10mg, インタビューフォーム
沢井製薬株式会社:レボセチリジン塩酸塩錠5mg「タカタ」, インタビューフォーム
沢井製薬株式会社:レボセチリジン塩酸塩DS5%「タカタ」, インタビューフォーム
沢井製薬株式会社:レボセチリジン塩酸塩シロップ0.05%「サワイ」, インタビューフォーム
帝國製薬株式会社:ルパフィン錠10mg, インタビューフォーム

日本皮膚科学会:アトピー性皮膚炎ガイドライン 2021 <https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/guideline/ADGL2021.pdf>
日本皮膚科学会:皮膚癢痒症診療ガイドライン 2020
<https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/guideline/souyouGL2020.pdf>
日本皮膚科学会:蕁麻疹診療ガイドライン 2020 https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/guideline/1372913324_1.pdf
日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会:鼻アレルギー診療ガイドライン 2023

澤津橋, 基広:花粉症に対する薬物治療:患者満足度を意識した抗ヒスタミン薬の使い分けと鼻閉に対する工夫,福岡医学雑誌. 107(1), pp.1-7, 2016-01-25. 福岡医学会
後藤 穰:最新のアレルギー性鼻炎治療-ガイドライン改訂と抗ヒスタミン薬による治療戦略-,日耳鼻124: 943-947, 2021
木津 純子:アレルギー性鼻炎治療におけるアドヒアランスを考慮した第二世代抗ヒスタミン薬の選択と指導,日耳鼻122: 1405-1410, 2019
谷内一彦:小児における抗ヒスタミン薬の選択について考える,小児耳 2018; 39(3): 275-282
谷内 一彦:薬理作用から見た理想的な抗ヒスタミン薬治療,日耳鼻123: 196-204, 2020
岡本美孝:第2世代抗ヒスタミン薬の特徴と使い方,アレルギー 66(7) 924-930, 2014(平29)
大久保公裕:日本における第2世代抗ヒスタミン薬のエビデンス,耳鼻免疫アレルギー(JJIAO) 29(1): 1-5, 2011